

教職員・学生の皆さんへ

2021年04月26日

神戸市立工業高等専門学校

校長 末永 清冬

緊急事態宣言の発出に関して

教職員、学生の皆さん、4月25日に近畿2府1県(兵庫県、大阪府、京都府)及び東京都に新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発出されました。神戸市ならびに兵庫県では、変異株の影響もあり、3月下旬から新規感染者数が急増しています。4月23日の報道によれば、兵庫県の病床使用率は85%を超え、重症者用の病床使用率も75%を超えており、まさに医療崩壊の瀬戸際といえます。感染拡大に歯止めをかけることは、市民、県民の命と生活を守るための喫緊の課題であり、私たちも最大限の努力と協力をする必要があります。本校の教育・研究活動を守るためにも、引き続き感染防止の行動を徹底するよう強くお願いします。

学生の皆さんは、今年度の授業が始まって1ヶ月も経たないうちに3度目の緊急事態宣言が発出され、しばらく我慢の時期が続くこととなります。しかし、ワクチン接種が進み、これまで以上に感染防止対策を徹底することで、新型コロナウイルスの感染拡大は防ぐことができると信じています。幸いにも本校ではクラスターは発生していませんが、10代、20代の感染者が徐々に増加していることから、学生の皆さんはこれまで以上に自覚を持った感染防止対策の徹底が必要になります。手洗い、手指消毒をこまめに行うとともに、食事中の会話や大声での会話など感染リスクが高まる行動は厳に慎むようにしてください。また、不要不急の外出を控えるなど、適切な行動を心掛けてください。

教職員の皆さんには、新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、教育・研究活動、学校運営にご尽力いただいていますこと、心より感謝し、今後も継続して努力して頂きますようお願いいたします。また、学校外での行動につきましても、会食などのリスクが高い行動の回避、懇親会等の参加の自粛、不要不急の外出を控えるなど、一人一人が感染対策をこれまで以上にしっかりと行い、適切な行動を心掛けるようにしてください。

本校では、これからも感染防止対策を徹底し、教育・研究活動の推進に取り組んでまいります。活動制限がかかる厳しい状況が続いていますが、これを乗り越えるため校長として皆さんのご協力を改めてお願いします。神戸高専の教職員、学生一同が「感染しない、感染させない」ということを強く自覚した行動を心掛け、一致団結してこの厳しい状況を乗り越えましょう。